

79	建設局	暑さ対策としての道路舗装
事業概要	<p>道路の暑さ対策の一つとして、東京都では、舗装内に蓄えた水分が蒸発することで、路面温度の上昇を抑制する効果のある保水性舗装を実施している。</p> <p>さらに、低騒音機能を損なわずに路面温度の上昇を抑制する効果のある舗装として、太陽光を反射する遮熱材を舗装表面に塗布する遮熱性舗装を、平成19年度に試験施工し、平成20年度から本格実施している。</p>	
これまでの経過	<p>【 遮熱性舗装 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>夏場に一般の舗装と比較して8℃程度の路面温度上昇抑制効果が確認できた（平成19年度共同実験〔新大橋通りでの試験舗装〕による調査結果）。</li> <li>平成30年度は、内堀通り（千代田区皇居外苑）など、延長約13kmを実施した。</li> <li>平成30年度までの施工実績は、延長約109kmである。</li> </ul> <p>【 保水性舗装 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>真夏の降雨後に一般の舗装と比較して10℃程度の路面温度上昇抑制効果が確認できた（平成14年度調査結果）。</li> <li>平成30年度は、新宿副都心十三号線（新宿区西新宿三丁目～二丁目）で、延長約0.4kmを実施した。</li> <li>平成30年度までの施工実績は、延長約20kmである。</li> </ul>	
現在の進行状況	<p>【 遮熱性舗装 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成31年度は白山祝田町線（千代田区日比谷公園～霞が関一丁目）など、延長約20kmを実施する。</li> </ul> <p>【 保水性舗装 】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成31年度は、丸の内室町線（千代田区丸の内二丁目～一丁目）で、延長約0.2kmを実施する。</li> </ul>	
今後の見通し	<p>今後も、センター・コア・エリアを中心とした重点エリアにおいて、遮熱性舗装などを積極的に実施していく。</p> <p>特に東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会におけるマラソンコース等においては、「アスリート・観客にやさしい道の検討会」の提言も踏まえ、着実に整備する。</p>	
問い合わせ先	建設局 道路管理部 保全課	電話 03-5320-5296